



大入！郷土歌舞伎公演
名演技が観客を魅了

昨年記念すべき20周年を迎えた東白川村郷土歌舞伎。今年も9月15日（敬老の日）にはなのき会館で開催され、村内外から約600人の歌舞伎ファンたちで会場は熱気に包まれました。役者さんたちはもちろんほとんどが村民。おなじみとなった松本団升先生（山岡町）のもとで約2カ月の練習を重ねた晴れの舞台は、堂々たる名演技の連続で、会場からは割れんばかりの拍手や掛け声とともにおひねりが飛び交っていました。

プロ顔負けの大ベテランと初舞台の役者さんが繰り出す演技やセリフは郷土歌舞伎ならではの味があり、今後益々ファンが増えそうです。

広報
1997 10 No.436
平成9年
ひがししらかわ

人口の動き

—9月末住民登録人口から—

世帯数	903	世帯
人口	3,278	人
転入	6	人
転出	6	人
出生	0	人
死亡	2	人

先月と比較して2人減
昨年と同月と比較して
40人減



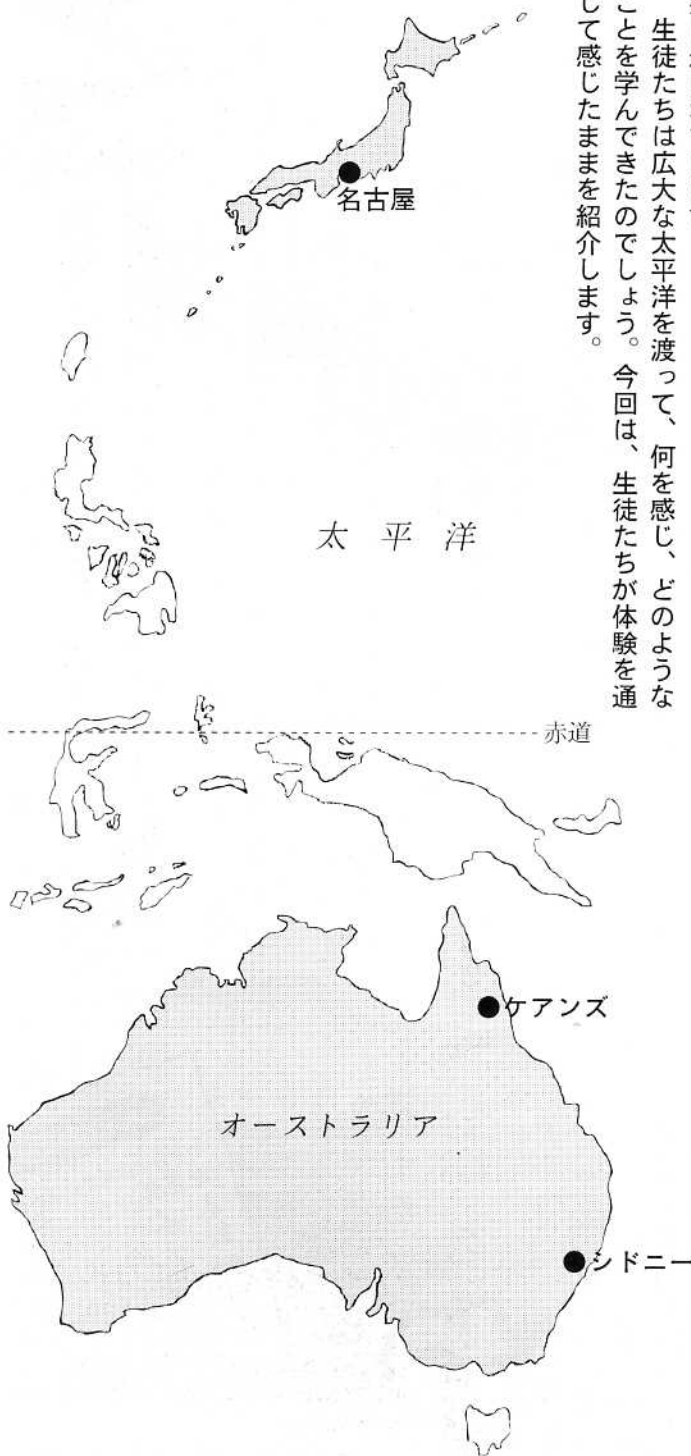
南の国を尋ねて

—— オーストラリア紀行 ——

八月二十三日、東白川中学校三年生の三十四人が南の国オーストラリアへ六泊七日の海外研修に出発しました。

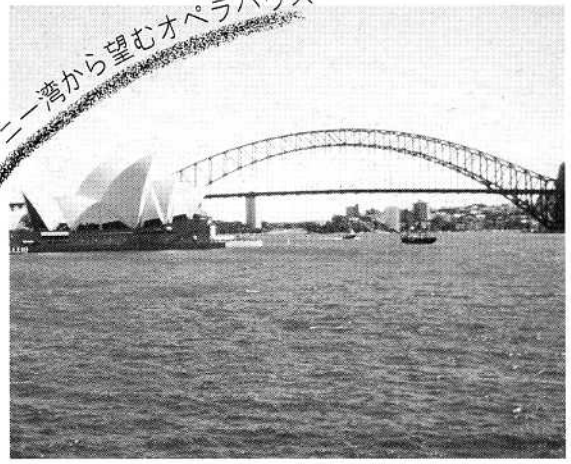
この研修は、生徒たちに海外での交流や体験で広い視野と豊かな心を持って欲しいと今年から始められたもので、研修メニューには、学校訪問、ホームステイ、農場や牧場体験が盛り込まれています。

生徒たちは広大な太平洋を渡って、何を感じ、どのようなことを学んできたのでしょうか。今回は、生徒たちが体験を通じて感じたままを紹介します。





シドニー湾から望むオペラハウス



Sydney

自然と調和した街並みシドニー
国の広さを感じさせるフェザーデル動物園

日本から約十二時間、人口約三百七十万人のオーストラリア最大の都市シドニーに到着。午前中は、この国を代表する建物オペラハウスなど市内の有名な観光地をまわりました。中でも青い海に広がるボンダイビーチは、生徒たちにたいへん好評で、白い砂浜を走りまわっていました。この日の昼食は船で湾を一周しながらのバイキング。育ち盛りの生徒たちは、景色よりも食欲が優先していたようです。

翌日三日目の午前中は、市内にあるフェザーデル動物園を見学し、まずはコアラとツーショット。間近で見ることができない動物ばかりで、生徒たちは感動していました。園内

シドニー市内見学

・シドニー見学を終えて、日本よりずっと大きくなってオーストラリアへ来てよかったです。大人になって機会があったら来たいです。松岡あや
・シドニーは街並みが自然と調和していて、すごくきれいだった。いたる所に木が植えられ、公園が多いのにも驚いた。安江良介
・買い物をするのに寒いシドニー市内をさまよった。外人さんに道を尋ねたがさっぱり聞き取れずわかったふりしてお礼をいった。桂川正樹
・シドニー市内へ買い物に出かけた。おみやげや自分の物も少し買ったが日本より物価が高いと思った。店員も口笛を吹いて陽気だった。村雲三記央
・クルーズでのバイキングは、レアーの肉や変わったフルーツなど日本では

味わえないものばかりで、たいへん好評でした。今井智恵美

・ボンダイビーチを見たとき、真っ青な空と透きとおった海、それに広い砂浜に感動しました。日本では見られない光景だと思いました。安江侑子
・レンガ造りのかわいい家。ボンダイビーチの青い空と海の色。大きくて変わった造りのオペラハウス。すべてに感動しました。今井なつき



青い海に広がるボンダイビーチ（シドニー）

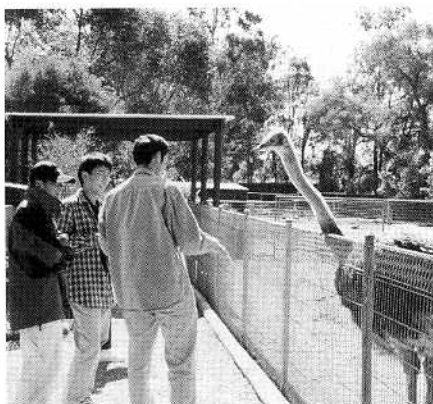


2000年に開催されるシドニーオリンピックの建設現場

フェザーデル動物園

・コアラといっしょに写真を撮り、カンガルーに餌をやって楽しかったです。また、ダチョウやワニの大きさにびっくりしました。安江宜正

・特に気に入ったのは、コアラみたいな鼻で、からだは小熊のようなウォンバット。手を差し出すとペロペロと舐めた。牧野美由紀
・コアラやカンガルー、クロコダイルにタスマニアデビル、ほかにも色々な動物がいて、オーストラリアの広さを感じました。島倉昌史



フェザーデル動物園を見学（シドニー）



Sydney 人の優しさに包まれたホームステイ 習慣の違いを感じさせた学校訪問 貴重な体験がいっぱいファームステイ

三日目の午後にはクェカースヒル・ハイスクールを訪問して、ホームステイ先の生徒と対面しました。少し緊張した顔が印象的。その後、現地生徒といっしょに下校し、研修のメインであるホームステイを行いました。翌日生徒たちの「もう一泊したかった」の声。研修前には不安だらけの生徒たちも言葉の壁を超えて通じ合うものがあつたようです。

そして四日目の午前中は、学校を訪問し、現地生徒と交流会を行いました。音楽クラブのバンド演奏などで温かく迎えてもらい、こちらからも二曲の合唱を披露しました。午後からは、ファームステイ（農場体験）。羊の毛刈り、牛の乳しぼりなど、動物とふれあい自然の中で一日を過ごしました。

ホームステイ

- ・マカレナを踊ったりして楽しく過ごしました。帰るとき「また会いましょう」といつてくれました。今井可奈恵
- ・料理づくりを手伝ったり遊んだり、第二の家族と過ごせたようで、とても心が暖まりました。今井雅典
- ・話をしたりドライブをしました。そのうち家族の温かさが伝わってきていい気持ちになりました。牧野勲平
- ・「ぼくを家族の一員だ」と温かく迎えて入れてくれました。できれば二、三日ステイをしたかった。服田健太郎
- ・豪華な食事を食べさせてもらったりデパートへも行きました。本当にいい体験をしました。新田辰也
- ・ホームステイ先のキャスリンは何度も日本に来ているようで親しくしてくれました。もう一度会いたい。樋口明代

学校訪問

- ・トランポリンや折り紙をして遊びました。家族は優しく明るい人ばかりで楽しいひとときでした。杉山綾美
- ・家の中で靴をはいていることに驚きました。向こうでは自分から手伝ったほうが喜ばれるようです。田口由里
- ・ドライブに出かけ、リンゴを買って食べましたが、向こうの人は農薬を気にしないのに驚きました。鈴村陽一
- ・私の誕生日を知っていたのか、手づくりのケーキで祝ってくれました。たいへんうれしかったです。栗本ナツ子
- ・歓迎会で生徒代表でスピーチをしたときとても緊張しました。でも交流会はとても楽しかったです。安江綾香
- ・中学校と高校が同じ場所にあり、先輩と後輩が対等にあいさつをしている

ことに驚きました。 安江さくら

・向こうの生徒といっしょに食べたりバスケットをやったりして楽しかった。一番の思い出です。 安江紀久

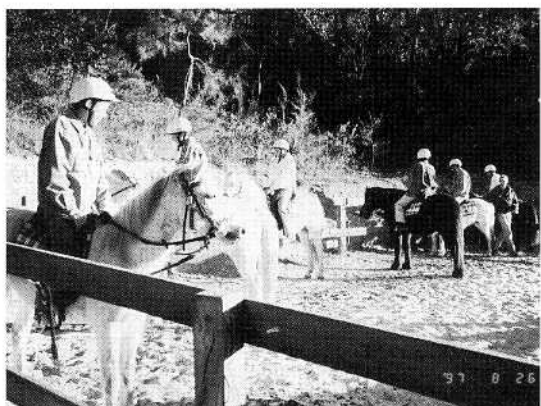
・日本語で「こんにちは」とあいさつをしてくれたり、気軽に声をかけてくれてうれしかったです。 栗本貴章

・この国の人はみんな仲が良く、いい学校でした。日本も見習わなければいけないと思いました。 安江加代子

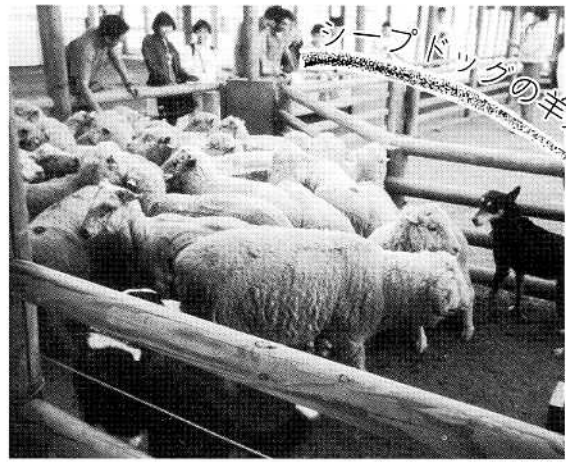
・すぐく広くてのんびりしているなと思います。また、生徒がアクセサリーをしているのに驚いた。今井明日香

ファームステイ

・牛の乳しぼりや乗馬、ブーメランやクリケットなどこの国でしかできない貴重な体験ができてとても良かったと思います。 今井里美



ファームステイで乗馬を体験 (シドニー)



Cairns

楽しい買い物をしたケアンズ 自然の偉大さを学んだグリーン島

オーストラリアの北のメインゲートケアンズ。ここは北クイーンズランド観光の中心地で入国も出国もこの町からです。

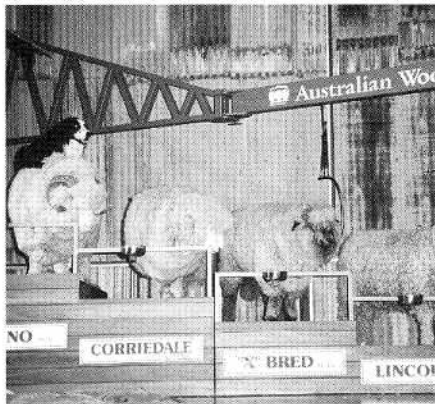
ケアンズでは、オーストラリアン・ウールシェッドを見学。ここでは羊のショーやシェパードの羊追いのデモンストレーションが行われていました。

また、翌日は船でグリーン島へ。この島は二千坪にもおよぶ世界最大の珊瑚礁群グレートバリアリーフの中に浮かぶ島のひとつで、島に着くとガラス貼りのボートで海中を観察。そのあと生徒たちは目の前に広がるトロピカル海に誘われるように服を脱ぎ捨て海の中へ。シュノーケリングを楽しむ者、また、水族館やワニ園で楽しむ者、生徒たちは思い思いに島での生活を満喫していました。

ケアンズ

・この研修で与えられた一番長い自由時間。語学力を試そうとアイスクリーム屋へ入ったが、結構通じるものだと確信しました。今井宣之

・この町には独特の建物がいっぱいありました。買い物に出かけたが、同じような道ばかりで分かりづらく、建物を目印に迷わずにすんだ。今井克典



オーストラリアン・ウールシェッドで羊の毛刈りショーを見学 (ケアンズ)



グラスボトムボートで海中観察 (グリーン島)

グリーン島

・買い物に出かけたが値段が高いのに驚いた。免税店ではパスポートが無く旅行会社の方をお願いして買い物をした。でも楽しかった。古田 司

・海を歩いているとなまこがいた。初めて本物を見た。しかも触った。次に発見したのはヒトデだ。そのほかにも

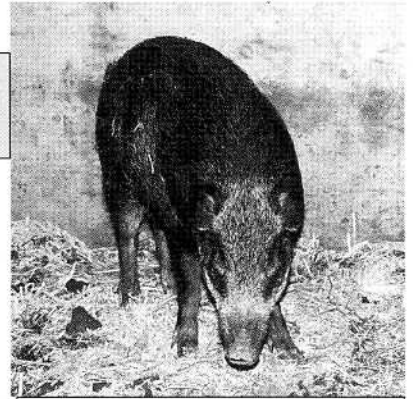


島の生活を満喫する生徒たち (グリーン島)

いろいろな生き物がいた。安江章徳
・海に飛び込んだ。サンゴでいっぱいその回りにはきれいな魚がいっぱい。もう少し進むと白いきれいな砂が見えて、とても神秘的だった。今井輝明
・引き潮で沖まで歩いて行き、海の中のいろんな動物を見たり、触ったりしました。いろんな種類のヒトデがいきました。海へビもいました。島倉大輔
・青や赤や白い珊瑚礁。初めて見たので感動しました。それに水族館でしか見たことがない魚が船の下にいっぱいいました。仲沢 愛

六泊七日の研修を終えた生徒たち。見知らぬ大地で不安を抱えながらも見知らぬ人と出会い、人のぬくもりを知り、初めての体験ばかりでしたが、すべての生徒たちが「行って良かった。やって良かった」という気持ちで帰ってきました。子どもたちは、この研修で大きく成長したようです。

元気村の『出来事情報』



1年前に捕獲され、今では集落の人気者のイノシシのゴンちゃん（神付の安江啓次さん）



老人クラブ対抗戦で玉入れ競技に奮闘する皆さん

いました。この日、行われたのは今年で二十三日を数える東白川村老人まつり。このまつりは「明るい村づくり」に協力しよう、「健康づくりを推進しよう」の二つをスローガンに開催され、準備体操を皮切りに次々とレクリエーションが行われました。

玉入れ、輪投げ、風船割りといった競技は七つの老人クラブの対抗戦で行われ、お年寄りたちは皆さん大ハッスル。白熱した戦いの中に、会場はまばゆいほどの笑顔に満ちていました。競技のあとの昼食時間も、田口安幸さん（日向）の演芸やカラオケで大いに盛り上がりました。

健康
お年寄たちはみんな
元気いっぱい!!

九月十日の敬老の日、東白川中学校体育館は二百三十人を超えるお年寄りにぎわ



有線本部でその日の夜に放送されるお知らせを録音する安江藍さん（陰地）

「大きくならなかったら何になりたい」と皆さんもこんなことを聞かれて夢を語ったことがあるのでは。九月二十二日に東白川中学校二年生三十八人が、村内二十六か所の事業所や施設で職場体験学習を行いました。

この体験学習は、働くことの大切さや自分の進路を見いだすなどを目的に実施されたもので、生徒たちはそれぞれ希望する職場で一日を過ごしました。中でも「婦人警官にあこがれている」という田口若菜さん（大明神）は、東白川駐在所で一日婦警さん。制服姿で村内をパトロールし、住民の皆さんから「よく似合うよ」と言われて照れながらもまんざらでもなさそうでした。

そのほかの職場でも生徒たちの評判は上々。金の卵たちの将来は明るいようです。

体験
金の卵たち
あこがれの職場を体験!!



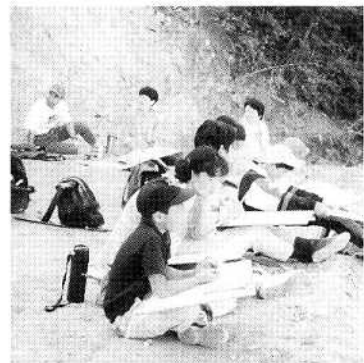
住民の安全を守るためにパトロールをする田口若菜さん（大明神）



大自然の中、参加者全員で記念撮影ハイチーズ!!

この教室で描かれた絵や写真は、十一月にこもればの里で開催される秋フェスタ'97でコンテストが予定されており、一般の皆さんに審査していただくことになっています。

教室
大自然を
キャンパスと写真に!!



写生大会のようす

「歩きながら自然を楽しもう」と九月二十一日東白川村林業グループによる森林教室が下野地内の山林で行われ、十五人の皆さんが参加し、自然を満喫しました。

この森林教室は今年で四回目。今回は山中の散策のほか、「大自然を絵や写真に残そう」と写生大会や撮影会が行われ、参加した皆さんは思い思いに豊かな自然をキャンパスやフィルムに収めていました。

話題集まれ!



開通したあさぎり街道をパレード

お茶を基幹産業とするこの地区に、とても大きな役割を果たすでしょう。

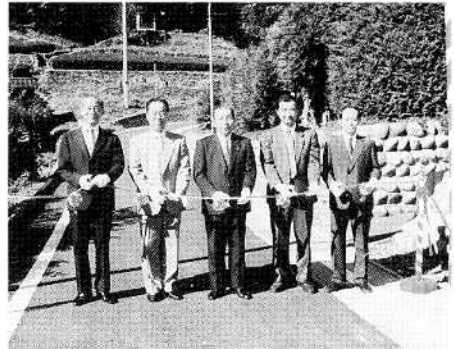
地元の期待を受けて平成四年度から事業が進められてきた農道柏本・宮代線(通称あさぎり街道)がこのほど完成し、九月三十日に関係者約五十人を迎えて竣工開通式が執り行われました。

この道路は、村道大沢柏本線、今井英信さん(宮代)宅西を起点に柏本洞の村道柏本南線に接続する延長一、五八八メートル、幅四メートルの農道で、この地区の朝霧が深いことから「あさぎり街道」と名付けられました。

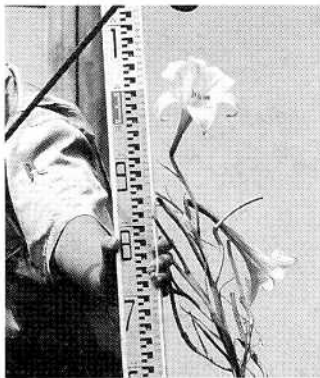
竣工開通式では、桂川村長らによってテープにハサミが入れたあと数台の車でパレードが行われ開通を祝いました。この農道の開設は、

あさぎり街道が
開通!!

竣工



桂川村長らによってテープカットが行われました



▲従来の記録を13センチ上回った
草丈31センチのテッポウユリ(更新)

従来の記録を13センチ上回った草丈31センチのテッポウユリ(更新)の記録が提供

毎年、秋フェスタの場において認定をしている「ギネス東白川何でも村一番」。今年も記録に挑戦する人たちがたくさんいる情報を寄せていただきました。

まずは二点の作品で挑戦いただいた加舎尾の田口薫さん。エントリーNo.一：ギボウシ草丈一六五センチ。そしてエントリーNo.二：ネジバナ草丈六五センチ。この二点の作品の記録はなく、新規で認定を待ちます。

今年も続々と
ギネスにチャレンジ!!

挑戦

▼草丈121センチのギボウシ(新規)



▲草丈65センチのネジバナ(新規)

者は大沢の今井修子さんとギネスに初挑戦です。従来の記録は二尺八七センチで、一三センチの更新となります。

続いて二種類のキビでチャレンジするのは、西洞の今井好美さん。エントリーNo.四：コキビ二尺二〇センチ。エントリーNo.五：タカキビ三尺四〇センチ。これも記録がなく新規の挑戦となります。

続いては、おなじみの日向の田口安幸さん。今回は、草丈二尺三五センチのオオケタデで挑戦いただきました。「十個の記録を持つまで頑張る」という安幸さんは、毎年いろんなものに挑戦され、現在六つの記録を保持されています。

皆さんもチャレンジしてみたい。



▲草丈2尺35センチのオオケタデ(新規)

▼高さ3尺40センチのタカキビ(新規)



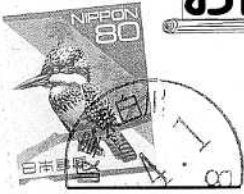
▲高さ2尺20センチのコキビ(新規)

なごやか村の『人情報』

お便り

スターになれた日

神 土 平
上 田 真 由 美



局役を演じた
上田真由美さん

最後に私事ですが我が家のどんな様にお礼を言いたいと思います。「子守を快く引き受けてくれてありがとうございます。ご苦労様でした」

今回、「歌舞伎」という大変な行事に参加させていただきました。歌舞伎の台本を持ち練習に行くことは、私にとって育児から開放されるひとときでありました。団升先生をはじめ役者の皆さんは、何も知らない私に本当に親切に教えてくださり、おかげで安心して練習に参加することができました。今でこそ言えることですが、私は本番で美しいお姫様のようになれることを楽しみにしていました。ところが当日鏡に写った私は、我が子も後ずさりする眉無しお歯黒の怖いお局様だったのです。それでも舞台上上がると緊張は興奮に変わり、日ごろは平凡な主婦がスターになれた瞬間でした。今まで経験したことがない感動です。こんな感動を味わえる歌舞伎にめぐり合うことができ、感謝の気持ちでいっぱいです。東白川村での忘れがたい思い出の一コマになりました。



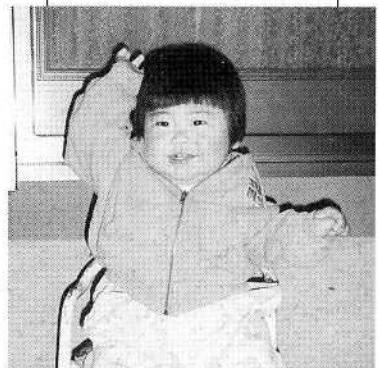
老人まつりにて

わが家のスター

このコーナーの子どもたちみな同い年。
10年後、20年後「広報」をみればほう！
1歳のあの子の顔が...



▲安江 元希ちゃん
(敏之さん・真里子さん
= 柏本)



▲高木 彩葉ちゃん
(誠さん・貴子さん
= 黒淵)

仲間をたすねて



今回はほうぼうのまつりやイベントで華麗な踊りを披露してくれる民踊クラブを訪ねました。発足して約三十年と伝統あるこのクラブは、現在、会員は十人で毎週火曜日にはなほのき会館で練習を行っています。

クラブの皆さんは「踊りは表情が必要。踊りで歌の情景が思い浮かべなければいけない」という師匠の早瀬登智子さん(上親田)から、手の動き、足の運びなど細かな指導を受けながら、曲に合わせて舞台の上を所狭しと動き回り繰り返し練習を重ねていました。しかし、厳しい練習の中にも「輪を大事にしている」



繰り返し練習をする民踊クラブの皆さん

というだけあって、休憩の間は和やかな雰囲気にも包まれていました。
この民踊クラブは、チャリティーで開催される民舞まつりなどにも参加し、福祉にも貢献されています。
数々の場で活躍しているこのクラブも「練習の場が少ないのが悩み」と話してくれました。

みんな仲間だ!

消息 9月1日～9月31日

(敬称略)

- おくりやみ申し上げます
安江 治一 67歳(陰 地)
古田 芳一 69歳(平)

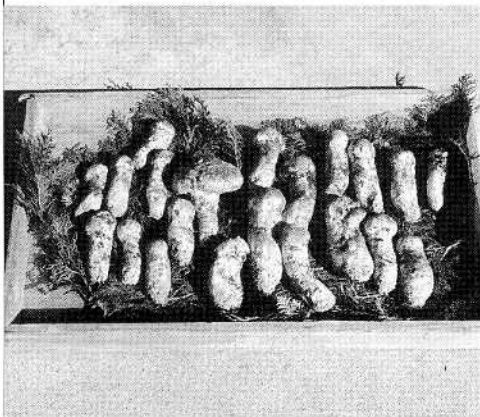
職場から

松茸農家

秋の味覚といえば、柿や栗などいろいろありますが、いつまでたっても庶民の高嶺の花はやはり松茸。今回は自らの山で松茸を採り、出荷をしている庶民にはうらやましい大明神の安江多策さんを訪ねました。

松茸が生える場所は、湿気のある赤松の周囲。松の根毛に松茸の胞子が寄生し、養分を吸収して成長するそうです。しかし、それがうまく生育するには、いろんな好条件が必要で、「最近は大気汚染などの影響で数が減っている」という多策さんは「昔は1日に約10kg採れたが、今ではその約10分の1しか採れない」と話してくれました。

人工栽培がまだまだ確立されていない松茸。私たち庶民の口に入るのが、また遠ざかったようです。



今回は、四月から故郷の東白川小学校に赴任された平の島倉誠さんご一家を訪ねました。島倉さんご一家は、ご主人の誠さん、奥さんの由美子さん、小学校三年生の諒君、そして三歳になる舜ちゃんの四大家族。ご主人は職業柄、転勤はつきもので、岐阜市や美濃加茂市な

プラス2
ツーツョット
Uターン家族



左から安江由美子さん・誠さん
舜ちゃん・諒君

に実家がある奥さんは故郷の暮らしに満足している様子です。しかし、転校を余儀なくされた諒君は、まだこれからたくさんの方だちづくりとか。甘えん坊の舜ちゃんはお母さんから離れて今月から保育園へ通っています。島倉さんご一家、落ち着くのはまだこれからなのでしょう。

ど転々とされ、村へ来るまでは七宗町の神測小学校に勤務していました。中学校を卒業以来、故郷を離れていたご主人は久しぶりの故郷を見て「建物や道が整備されたのに驚いた」と。また、上親田

ホット・エンジェル



稲刈り作業は同じく五年生の児童たちで行われ、先生や保護者の説明や注意を聞いたあと、稲刈り鎌を片手に作業にあたりました。研修田の広さは約三百平

実りの秋を迎えいよいよ稲刈りシーズンの到来。東白川小学校でも今年の春五年生五十人の児童たちの手によって植えられた苗が黄金色の穂をたれ、九月二十日に収穫されました。



約300平方メートルに植えられていた稲はわずかな時間で刈り取られました

方刈。児童たちは泥だらけになりながらも楽しそうに稲を刈り、刈られた稲は、その場で脱穀されました。収穫されたもみ約七十kgはライスセンターで乾燥・もみすりされ、親子会や収穫祭で収穫を祝います。



さと芋の花
初めて見たと大沢の藤井甚美さん

知ってほしい『生活情報』

社協から

デイサービスセンターせせらぎ荘では常時ボランティアさんの受入をしております。

ご都合のつくちよっとした時間に、せせらぎ荘にみえるお年寄りの話相手や介護のお手伝い、身の回りのお世話などをしてくださる方は、左記までご連絡ください。

〈有線〉

※社協 二〇九八

※せせらぎ荘

二七三七

課題を追う三

具体的検討に入った

保育園の合併

Ⅱ そのありかたを見つめ直そう Ⅱ

日本中の若者がすべて結婚し、二人の子供をつくったとしても、日本の人口の減少をくい止めることはできません。まして、今は一人かふたりっことが主流。これを「少子化」現象といい、総人口の減少と高齢化につながっています。

さて、東白川村はどうかと言えば、若者自体の減少に加えて少子化で数年先の幼児数が極端に少なくなりそうです。

これはひとり東白川村だけの事ではなく、全国の山村共通の悩みですが、そうかと言って手をこまねいているだけでは済まされず、懸命に「若者定住対策」を進めています。

しかし、いずれもただちに効果が現れる性質のものではなく、今後予想される幼児数の減少をふまえて、保育園の合併が課題となってきました。

先日、保護者代表や関係の皆さんで第一回の検討委員会が開かれ、具体的検討が開始されました。もちろん影響の大きい事ですから、充分に意見を聴きながら、来年四月ころまでに方向を定めるような日程で進められます。

現在の三箇所に保育園があるのがいちばん望ましいのとは言ってもありませんが、一園の幼児数が十人から二十人の間となると、はたしてそれでいいのか、考えさせられるところです。

保育園は教育機関ではありませんが、ここでの共同生活の基礎が、小学校から中学以降まで続くことを考えれば、人間形成のもとになる重要な機関であることは間違いありません。まして、おなじように人間形成のもとである家庭教育の質の低下が言われている現在、保育園の存在価値とその在り方を、子供のあるなしにかかわらず、あらためて考え直す時ではないでしょうか。



▼栄養たっぷりです！

お米のお話 ② ▲

ご飯には、食物繊維が含まれていることを前回お話ししましたが、食物繊維には生活習慣病予防や女性に多い便秘の予防に効果があります。

現代人は、野菜やキノコ類はしっかり食べますが、ご飯の量が戦前と比べ半分ほどに減少しています。

「かつての日本人はとも便の量が多かった」これもご飯と食物繊維の量がおおいに関係しています。

欧米では和食が健康食として注目されていますが、日本人の食生活は欧米化し高脂肪食です。

「ご飯は残しても、おかずを食べて栄養をつける」というのではなく、ご飯をきちんと食べて、便通を整え生活習慣病の予防に心がけましょう。

▼スポーツの秋。運動はなぜ大切か？ ▲

運動と病気との関連ではどのような効果があるのでしょうか？

まず、糖尿病の場合。運動は筋肉組織自体のエネルギー源として糖を取り入れ、血糖を消費し、インスリンを節約する働きがあり、糖尿病の予防や治療に役立ちます。

動脈硬化・心臓病の場合には血清総コレステロールの増加は動脈硬化を促進しますが、運動には善玉コレステロールを増加させ、悪玉コレステロールを減少させる効果があります。

高血圧の場合にはウォーキングやジョギングなどを行うと交感神経の緊張がゆるみ、血管内の血液抵抗が下がり、運動を継続することにより、毛細血管の活性化が図られ、血圧が下がります。



行政の窓口

ありがとう
ございました

御寄付 (敬称略)

【社会福祉協議会へ】

現金5万円=安江純治(陰地)

現金1万円=早瀬寛(神付)

古切手=田口二三子(平)

古切手他=山路弘子(平)

古切手・タオル=匿名

【社会福祉施設整備指定へ】

現金15万円=今井敬(名古屋市)

現金10万円=(株)十六銀行

【東白川小学校へ】

鉛筆・風船=美濃加茂農協東白川支店

【神土保育園へ】

雑巾=熊崎とみの(下野)

【五加保育園へ】

栗10kg=安江辰也(宮代)

自分の健康は自分で守ろう!

まず、自分の健康状態を知ることが大切です。どこも痛いところや不快感がないときは積極的に健診を受けようとは、なかなか思わないものです。しかし病気はすでに始まっていることもあります。こんなときこそ健診を受け、早期のうちに病気を発見するチャンスを生かしましょう。

健診を受けることによって得られる効果は

- ①健康であることが確認できる。
- ②早期発見・早期治療につながる。
- ③健康に対する意識が高くなる。
- ④生活習慣を改善するキッカケとなる。
- ⑤家族ぐるみで健康に取り組む姿勢を作る。
- ⑥すこやかな生活を約束する第一。

今年、まだ胃がん検診・血液再検査・骨塩定量検査・乳がん検診があります。自分にあつた健診を選び、これからの生活をより快適に過ごすためにもぜひ健診を受けましょう。

保健婦だより

秋フェスタ'97リサイクル マーケット出品者募集

環境をテーマに十一月十六日開催される秋フェスタ'97で、家庭で使われなくなった物を集め、リサイクルしようという催しを行います。対象商品は、

- ①衣類
 - ②日用品
 - ③玩具
 - ④スポーツ用品
 - ⑤CD
 - ⑥ゲームソフト
 - ⑦電化製品
 - ⑧本
 - ⑨林業機械
 - ⑩農業機械
- などで、食品、美術品、骨董は取り扱いません。価格は実行委員会が一定の基準で付けます。十月二十日から十一月四日までの間に各地区の取り扱い家庭へご提出ください。
■くわしくは新聞折り込み、または役場産業振興課商工係(有線五一四七)までお問い合わせください。

戦没者等の遺族の皆様へ

戦没者等の遺族の方に、特別弔慰金が支給されます。

支給額/戦没者一人につき額面四十万円の記名国債(十年償還)

支給の条件/満州事変以後の戦没者等の遺族で、平成七年四月一日において公務扶助料、遺族年金などの年金受給権者がいない遺族。

支給優先順位/
(1)弔慰金受給権者

(2)戦没者等の子

(3)戦没者と生計をともにしていた①父母②孫③祖父母④兄弟姉妹

(4)③以外の①父母②孫③祖父母④兄弟姉妹

(5)①から④以外の三親等内の親族
請求の受付/平成十年三月三十一日まで
くわしくは/役場住民課有線二一六二

人権映画及び啓発劇の開催

村は今年度、美濃加茂人権擁護委員協議会及び岐阜地方務局美濃加茂支局から人権モデル地区の指定を受けています。その推進事業の一環として人権映画及び啓発劇を開催します。

日時/平成九年十一月十九日(水)
開場午後一時 開演午後一時三十分

場所/はなのき会館
映画/「くもりのち晴れ」
啓発劇/「部落・根っこばなし」

出演者:紅谷与一
入場料/無料
くわしくは/役場
住民課有線二一五
一まで



このコーナーはスナップ風景です。
あなたの撮った写真をお寄せください。▶

輝く田舎の『文化情報』



9月23日に行われた神田神社のまつり。あいにくの雨でみこしもカッパを着るハメに！

こもれびの里の一隅に、中学校新築の際校庭から移植した花梨の木がある。その枝に、今年は幾つも実が生った。管理をしているふるさと企画の職員は、だれかに取られはしないかと気がでないようです。

栗も、今年はどうやら豊作でした。このような年のことを「生り年」と言うようですが、ほとんど自然のままに育てている果実類の場合、3年に一度位の割合で「生り年」が訪れるようです。

しかし確実にそうでもなく、開花期から結実期などの気象条件に影響されるのはまちがいないようです。

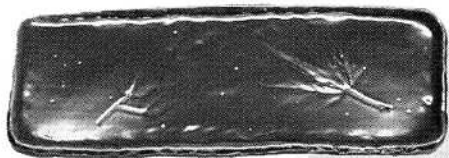
果実の少ないわたくしたちの村ですがいま、越原を中心にリンゴの栽培が試みられています。その味は、甘みも酸味も濃いというのがおおかたの評価で、お茶の味が良く、トマトもうまいという、東白川村の土の性質、気象の特性を、リンゴやその他の果実栽培に、もっと生かせないものでしょうか。

旬の話

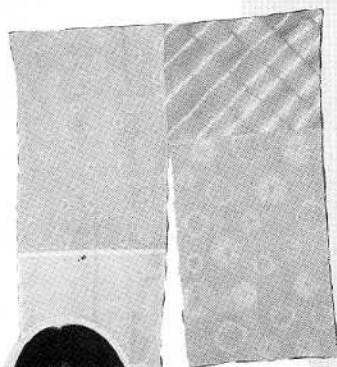
しゅん

な生り年

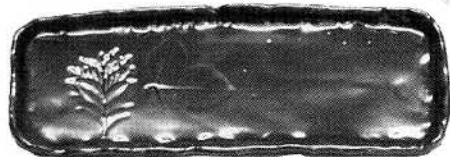
私の作品



▲陶芸「絵皿」
今井なみさん（大沢）
高齢者生きがい事業



▲「絞り染めタペストリー」
今井可奈恵さん（下野）
東白川中学校3年生



▲陶芸「絵皿」
樋口つなえさん（加舎尾）
高齢者生きがい事業



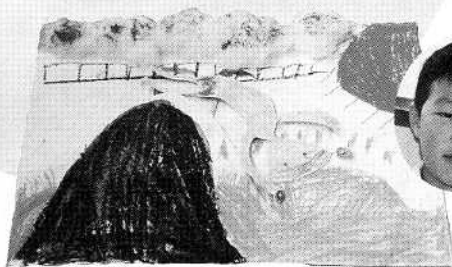
▲「運動会応援看板」越原保育園年長組



▲「手袋で作ったぬいぐるみ」
安江彩香さん（大明神）
東白川小学校6年生



▲東白川中学校3年生
安江さくらさん（上親田）
「キャミソールとスカート」



▲立体画「夏の思い出」
田口慎也さん（神付）
東白川小学校2年生

心のオアシス

東白川村百科

町村合併

昭和28年(1953)10月1日に「町村合併促進法」が施行されました。

このときを境に、東白川村は村始まって以来の大揺れとなりました。

当時の我が国の町村は、数にして1万2千、平均人口5千人程度で、あまりにも小規模のため地方自治の推進が困難になる、との観点から合併を促進するというのが法律の趣旨でした。

これを受けて県が定めた計画は、加茂郡東部6か町村(白川町・蘇原村・黒川村、佐見村・坂の東村・東白川村)の合併でした。

東白川村を除く5か町村も、大揺れに揺れたあげく、まず白川町と坂の東村が合併、その後佐見、黒川、蘇原も合併し現在の白川町が生まれました。

この間、当村では各地域で懇談会を開き住民の意見を聞いた結果、大勢として合併反対の声が強く、昭和31年、ついに県の合併勧告に対して、合併しない意志を表明することになりました。

その時から40年を経た現在、地方分権の動きの中で、ふたたび町村合併が論議されようとしています。

俳句

草にねて見る秋天の高さかな
秋風裡俺も呆けしと笑ひ合ふ
爽やかに天あり地あり今日のあり
草の中マリーゴールド咲きつゞけ
朝顔のつるに負けじと生くる日々
刈りあとに匠な技で落穂なし
赤トンボなびく稲穂で夢見るか
花南天軒場に小犬の留守居番
秋空へ棟上げのクレーン槌の音
笹百合の香りとじこめ夜の間
盆仕度亡母の言葉を想い出す
南瓜つる池を覆いて池守る
ダイアナの訃報巡るや防災の日
道づれと別れて独り虫時雨
萩咲いて今日もことなき日暮かな

日向 安江一滴水
下野 安江 和郎
神付 村雲とみ子
栃山 桂川 喜郎
平 今井 統子
曲坂 菊田 清美

あなたも作品をお寄せください—初心者、とくに若い人たちの投稿を歓迎します。奇数月の20日までに神戸河田重喜宛に出して下さい。

濁流にさすが釣人かげもなし
我が褥へ訪れうたふ秋の虫
手術日を看護婦告ぐるや夏燕
町晩夏ボプラの上の昼の月
退院や早や車窓に花すゝき
村芝居もっと降らせよ紙の雪
藪かげに煙吐かねど曼珠沙華
この羽柄神慮か見事秋の蝶

中通 村雲みか子
平 安江すみよ
西洞 河田 重喜

本

「女盗賊プーラン 上・下」

プーラン・デウィ 著

インドの極貧の村に低カーストとして生まれ、わずか11歳で結婚させられた少女プーラン。虐待の末に婚家を追い出された彼女を待ち受けていたのは村八分、白昼のレイプ、盗みの濡れ衣。そんなある日、盗賊団に誘拐され、彼女の運命は大きく変わろうとしていた。

「神戸っ子はまけなかった」 今関 信子 著

阪神大震災で、大きな被害を受けた神戸。がれきの中で互いに助け合い、悲しみを乗り越えて立ち上がる人々の姿を、事実をもとにつづった感動の物語です。

阪神大震災とたたかった「神戸」の皆さんのがんばりを伝え、応援する感動の記録です。



おし
せ

連絡
募集
行事

パートタイム雇用管理 改善セミナーの開催

労働省では毎年十一月上旬をパートタイム労働旬間とし、労働問題の啓発活動を集中的に実施しています。現在、パートタイム労働者の就業をめぐって適切な雇用管理が行われていないなどの問題が指摘されています。

そのため雇用管理の改善が図られるよう、本旬間行事としてセミナーを開催します。また、中小企業事業主等には、助成金制度による雇用管理改善事業の推進を図っています。

日時／平成九年十一月四日（火）午後一時～三十分
場所／県民ふれあい会館
くわしくは／岐阜婦人少年室 ☎〇五八―二四五―一三〇四六

自賠責保険（共済）の 加入は義務です

一、お宅のバイクの自賠責保険（共済）の加入忘れはありませんか。

二、小さなバイクにも自賠責保険への加入が義務付けられています。無保険で走ると、六カ月以下の懲役または、五万円以下の罰金、さらに違反点数六点となり免許処分となります。

今一度点検し、契約切れとなっていたら、いますぐ損害保険会社、取扱店へどうぞ。

岐阜県最低賃金の改正

岐阜労働基準局では、県内で働くすべての労働者に適用される「岐阜県最低賃金」を十月一日から改正しました。

改正前	月額五、〇二二円
時間額	六二八円
改正後	月額五、一二八円
時間額	六四一円

この最低賃金は、臨時、

パートタイマー、アルバイトなど雇用形態に関係なくすべての労働者に適用されます。

最低賃金の対象となる賃金は、通常所定内賃金に限られ、ボーナスなどの臨時賃金、休日、時間外などの割り増し賃金や精皆勤手当通勤手当、家族手当は対象となりません。

なお、著しい労働能力の低い方などで、岐阜労働基準局長の許可を受けた方については、最低賃金の適用から除外されます。

くわしくは／岐阜労働基準局賃金課 ☎〇五八―二四五―八一〇四内線五三

労働保険の加入手続きはお済みですか

労働保険とは「雇用保険」と「労災保険」とを総称した言葉です。

労働者を一人でも雇用する事業主は、法律で加入が義務付けられています。

くわしくは／美濃加茂公共職業安定所 ☎〇五七四―二五一二一七八

住民みんなで 村を美しく！

「みんなで村を美しくしよう」と老人クラブの皆さんを中心に、各集落で清掃作業が展開されました。

九月十八日に行われた福寿会の皆さんによる清掃作業を皮切りに、九月二十日には五つの老人クラブが、また、九月三十日には高砂会の皆さんが、栃山橋付近をきれいにしてくれました。

そのほか東白川村観光協会と飛騨川漁業組合による清掃作業も九月二十一日に行われ、秋の紅葉シーズンを前に、山だけでなく道路も川も美しくなりました。



今年ほど青少年による悲惨な事件が多発した年は無いのではないだろうか。小生のみならず、子どもを持つ親さんが全国各地での事件発生に、強い衝撃を感じられたことと思う。

▼戦前の少年犯罪は、どちらかというと親の愛情欠如が原因であった。現在も親の愛情欠如はいじめを含めた問題根源になっているが、60～70年代に、親の愛情過多が一つの問題になってきた。▼母親が子どもにこんなに愛情を掛けられる時間が持てるようになったのは、少なくともここ30年ぐらいのことだ。以前は、親があまり干渉しなくても兄弟喧嘩をしたり、地域の子ともと遊んだり、喧嘩があれば仲直りの仕方を自ずと覚えた。▼しかし、近年、親の過保護・過干渉が子どものスクスクとした成長を阻害しているのではないだろうか。▼人として最低限身につけるべき能力の多くは、母親を中心とした家庭の愛情表現によるところが多いのも事実なのだが！

(T)